

## 札幌学院大学社会情報学部研究業績 (2000年)

### A : 著書・翻訳

A0001 井上芳保：消費社会の神話としてのカウンセリング，カウンセリング幻想と現実・上（日本社会臨床学会編）；現代書館，（2000）所収

A0002 皆川雅章，三上貞芳共訳：強化学習，森北出版，2000年12月20日発行

### B : 雑誌

B0001 秋山雅彦：地球環境の地史の変遷，化石研究会会誌，33(1)，pp.1-5，（2000）

B0002 石井和平：信頼と情報—情報社会における社会資本の意義—，社会情報学研究，日本社会情報学会，No.4，pp.33-46，（2000）

B0003 井上芳保：構築主義感情社会学から社会臨床の知へ—支配的文化に浸透した差別に向き合うセラピーの可能性—，社会臨床雑誌，No.8，Vol.1，（2000）

B0004 井上芳保：牧人＝司祭型のカウンセリングを超えて—よりよい社会臨床のための試論—，現代思想，pp.111-125，（2000）

B0005 大國充彦，高橋徹：社会情報解析—判決文の全体構造—，社会情報，札幌学院大学社会情報学部紀要，Vol.9，No.2，pp.1-11，（2000）

B0006 沖田庸嵩，治部哲也：選択的聴取時の単語に対する意味処理；再認テストと事象関連脳電位を用いた検討，心理学研究，Vol.71，No.1，pp.34-41，（2000）

B0007 Tachibana, H., Miyata, Y., Minamoto, H., Takeda, M., Sugita, M., & Okita, T.: Lexical processing and repetition priming

in subcortical infarction; An event-related potential study, Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases, Vol.9, No.2 (supplement 1), pp.265-266, (2000)

B0008 姚鵬鵬，諸富隆，沖田庸嵩：漢字認知に伴う形態レベルと意味レベルにおけるプライミング効果；事象関連電位（ERP）による研究，生理心理学と精神生理学，Vol.18，No.3，pp.231-245，（2000）

B0009 小内純子：日本の地域組織とジェンダー関係，北海道極東研究，No.3，日口北海道極東研究学会，pp.57-59，（2000）

B0010 斉藤たつき：マルチ OS 環境の効率的構築と効果的メンテナンス法，情報科学，No.20，pp.37-43，（2000）

B0011 斉藤たつき：システム論的考察による知的進化論の試み，社会情報，札幌学院大学情報学部紀要，Vol.9，No.2，pp.27-31，（2000）

B0012 Tatsuki Saito: A method of classification for intellectual evolution, Data Analysis, Classification, and Related Methods, IFCS-2000 abstracts, p.165, (2000)

B0013 高橋徹：『狭義』の情報と社会情報学—社会システム論からの展開—，社会情報学研究，No.4，pp.85-96，日本社会情報学会

B0014 高橋徹：「コミュニケーション」の変転—そのポテンシャルをめぐる理論史的—考察—，社会学研究，第68号，pp.75-95，東北社会学研究会

B0015 Ohbayashi, Y., Aoyama, S., Hiroshi Masui, H., Kato, K., Chiba,

- M.: Development of a charged-particle nuclear reaction data retrieval system on IntelligentPad; CONTIP, Journal of Information Science, Vol.26, No.1, pp.29-37, (2000)
- B0016 森田彦, 石川高行, 高橋哲男: ビジュアル環境を活用したプログラミング教育の試み—Delphi (Object PASCAL) の場合—, 社会情報, 札幌学院大学社会情報学部紀要, Vol.9, No.2, pp.13-26, (2000)
- B0017 森田彦, 津久井陽司, 高橋哲男, 青木一真, 前田輪音: 社会情報学基礎ゼミナールにおける試み—1999年度の取り組みの総括と今後のゼミへの提言—, 社会情報, 札幌学院大学社会情報学部紀要, Vol.9, No.2, pp.33-55, (2000)
- B0018 新國三千代, 石井和平, 是永論: 1998年度社会・意識調査データベース(SORD)作成事業報告, 社会情報, 札幌学院大学社会情報学部紀要, Vol.8, No.2, pp.91-102, (1999)
- C : 講演・口頭発表**
- C0001 秋山雅彦: 分子化石が語る古生物情報, 化石研究会会誌, 33巻, 2号, 79p, 2000年
- C0002 秋山雅彦, 奥井明彦, 鈴木祐子: 熱分解顕微 FTIR 法によるケロジェンの石油生成特性の解析, 日本地質学会第107年学術大会講演要旨, 2000年
- C0003 大國充彦: 価値判断システムの交叉・交代の様相—尊属加重規定に関する最高裁判決文を事例として—, 日本社会情報学会第5回大会, 静岡大学, 浜松, 2000年11月
- C0004 沖田庸嵩, 川島永嗣, 馬淵慶子, 諸富隆: 頭皮上記録顔応答 N 170 における左右半球差, 日本心理学会第64回大会, 京都大学, 2000年10月
- C0005 姚鵬鵬, 沖田庸嵩, 諸富隆: 意味プライミング効果は漢字認知の形態レベルにおいても生じるか?—事象関連電位(ERP)による検討— 第18回日本生理心理学会学術大会, 北海道大学, 2000年6月
- C0006 姚鵬鵬, 沖田庸嵩, 諸富隆: 文字初期知覚処理の事象関連脳電位(ERP)—慣れパラダイムによる検討—, 第5回認知神経科学会, 東京大学, 2000年7月
- C0007 姚鵬鵬, 沖田庸嵩, 諸富隆: 漢字の正立像および倒立像の初期知覚処理; 慣れパラダイムを用いた事象関連電位による検討, 日本心理学会第64回大会, 京都大学, 2000年10月
- C0008 姚鵬鵬, 諸富隆, 沖田庸嵩: 漢字の正立・倒立像の事象関連電位(ERP)—初期知覚処理に関する検討— 北海道心理学会第47回大会, 北海道浅井学園大学, 2000年12月
- C0009 斉藤たつき: 進化論, システム論的再考, 第58回札幌学院大学社会情報学部研究会, 2000年7月
- C0010 斉藤たつき: 知的進化論~人類はどこから来て, どこへ行くのか~, 第10回札幌学院大学社会情報学部・社会と情報に関するシンポジウム, 2000年7月
- C0011 升井洋志, 大林由英, 青山茂義, 加藤幾芳, 大西明, 千葉正喜: WWWによる荷電粒子核反応データ(NRDF)の検索・登録システムの開発, 日本物理学会春の分科会, 近畿大学, March 30-April 2, 2000
- C0012 新國三千代: データベースの基礎的研究—文書画像のフォントロバスタな文字検索手法の提案—, 第57回学

- 部研究会, 2000年6月1日
- C0013 Morita, H., Ciofi degli Atti, C., Treleani, D.: Realistic study of the nuclear transparency and the distorted momentum distributions in the semi-inclusive process  $4\text{He}(e, e'p)X$ , Bologna 2000, Structure of the Nucleus at the Dawn of the Century, Bologna, Italy, May29-June 3, 2000
- C0014 石川高行, 高橋哲男, 森田彦: ビジュアルプログラミング教育の試み, 2000 PC Conference, 札幌, 2000年8月
- C0015 森田彦, Ciofi degli Atti, C., Treleani, D., Braun, M. A.: 高エネルギー $4\text{He}(e, e'p)3\text{H}$ 反応における終状態相互作用の研究—Finite Formation Time 効果の $Q^2$ 依存性—, 日本物理学会第55回年次大会, 新潟, 2000年9月
- C0016 Alvioli, M., Braun, M.A., Ciofi degli Atti, C., Kaptari, L.P., Morita, H., Treleani, D.: Final state interaction in inclusive and exclusive quasi-elastic processes, October Cortona Meeting, Cortona, Italy, October, 2000
- C0017 山崎哲永: 北海道札幌方言における文末詞について—1999年度調査より(その1), 札幌学院大学言語学談話会, 札幌学院大学, 2000年10月
- C0018 山崎哲永: 日本語学習のポイント, 中華人民共和国ハルビン師範大学日本語系, ハルビン師範大学, 2000年10月
- C0019 山崎哲永: 日本の大学事情, 中華人民共和国ハルビン師範大学日本語系, ハルビン師範大学, 2000年10月
- C0020 Ohbayasi, Y., Aoyama, S., Masui, H., Kato, K., Chiba, M.: Development of Charged Particle Nuclear Reaction Data on IntelligentPad, JAERI-Conf 99-002, pp.228-233, (1999)
- C0021 升井洋志, 大林由英, 青山茂義, 加藤幾芳, 大西明, 千葉正喜: WWW上での核反応データベース利用システムの開発, 日本原子力学会1999年春の年会, 広島大学, March 22-24, 1999
- C0022 大林由英, 升井洋志, 青山茂義, 加藤幾芳, 千葉正喜: 知識メディアを基盤にした核反応データベース利用環境の開発, 日本原子力学会1999年春の年会, 広島大学, March 22-24, 1999
- C0023 升井洋志, 大林由英, 青山茂義, 加藤幾芳, 大西明, 千葉正喜: 荷電粒子核反応データの利用および収集システムの研究・開発, 日本原子力学会1999年秋の大会, 新潟工科大学, September 10-12, 1999
- C0024 大林由英, 升井洋志, 加藤幾芳, 青山茂義, 千葉正喜: CONTIP—IntelligentPadでの荷電粒子核反応データ検索・利用システム—, 情報処理学会全国大会, 岩手県立大学, September 28-30, 1999
- C0025 Ohbayasi, Y., Aoyama, S., Masui, H., Kato, K., Chiba, M.: Nuclear Reaction Database on Meme Media, JAERI-Conf 2000-005, pp. 358-363 (2000); The 1999 Symposium on Nuclear Data, JAERI, Japan, 1999
- C0026 Masui, H., Ohbayasi, Y., Aoyama, S., Kato, K., Chiba, M.: Development of a Search System of NRDF on WWW, JAERI-Conf 2000-005,

- pp.364-369, (2000); The 1999 Symposium on Nuclear Data, JAERI, Japan, 1999
- C 0027 Aoyama, S., Ohbayasi, Y., Masui, H., Kato, K., Chiba, M.: Development of a Utility System for Charged Particle Nuclear Reaction Data by using IntelligentPad, JAERI-Conf 2000-005, pp.370-375, (2000); The 1999 Symposium on Nuclear Data, JAERI, Japan, 1999
- C 0028 青山茂義, 大林由英, 加藤幾芳, 大西明, 千葉正喜: 統一されたインターフェース上での荷電粒子核反応データベース検索システムの構築, 日本原子力学会 1998 年秋の大会, 福井大学, September 28-30, 1998.
- C 0029 大林由英, 青山茂義, 加藤幾芳, 千葉正喜: IntelligentPad による荷電粒子核反応データベース検索システムの構築, 日本原子力学会 1998 年秋の大会, 福井大学, September 28-30, 1998
- C 0030 Ohbayasi, Y., Aoyama, S., Hiroshi Masui, H., Kato, K., Chiba, M.: Development of Nuclear Reaction Data Retrieval System on Meme Media, International Conference of radiation shielding (ICRS-9), Tsukuba International Congress Center, Tsukuba, Ibaraki, Japan, October 17-22, 1998
- D : その 他**
- D 0001 秋山雅彦, 奥井明彦: 熱分解顕微 FTIR によるケロジェンのマセラル単位での石油生成に関する研究, 信州大学地域共同研究センター年報—研究成果報告, 6, pp.3-4, (2000)
- D 0002 公文富士夫, 浦元啓, 秋山雅彦: 来馬層群恐竜足跡化石調査報告書, 小谷村教育委員会, 11-21, (2000)
- D 0003 秋山雅彦: 地球科学の窓 (モンタナ州とノースダコタ州の Hell Creek 累層最上部の "3m gap" で恐竜の産出は減っていない), 地球科学, 54 (6), p.405, (2000)
- D 0004 秋山雅彦: 書評: ダーウィン自伝 (チャールズ・ダーウィン著, 八杉龍一・江上生子訳, 筑摩書房) v, 日本地質学会 News, 3 (8), p.7, (2000)
- D 0005 秋山雅彦: 書評: 化石の研究法—採集から最新の解析法まで (化石研究会編, 編集委員長: 小林巖雄), 共立出版, 日本地質学会 News, 3 (9), pp.11-12, (2000)
- D 0006 秋山雅彦: 書評: 進化の大爆発—動物のルーツを探る, (大森昌衛著, 新日本出版社), 日本地質学会 News, 3 (10), pp.7-8, (2000).
- D 0007 秋山雅彦: 勝井義雄会員 (北海道大学名誉教授) チリ地質学会の名誉会員に推挙される, 日本地質学会 News, 3 (3), p.16, (2000)
- D 0008 秋山雅彦: 有機地球化学研究会の歴史(2)—New Letter からよむ発展史, 有機地球化学研究会, News Letter, No.31, pp.4-7, (2000)
- D 0009 秋山雅彦: 第 18 回化石研究会総会および講演会に出席して, 化石研ニュース, No.74, pp.5-6, (2000)
- D 0010 秋山雅彦: 有機地球化学研究会の歴史(3)—シンポジウム開催と ROG—, 有機地球化学研究会, News Letter, No.32, pp.9-11, (2000)
- D 0011 秋山雅彦: 田中邦雄先生との出会い, 大地とともに—田中邦雄先生を偲んで—, pp.26-27, 偲ぶ会, (2000)
- D 0012 小内純子: 交流人口, キーワード地域社会学, 地域社会学会, ハーベス

- ト社, pp.158-159, (2000)
- D0013 小内純子：ウーマン・リブ／フェミニズム, 国際理解 重要用語 300 の基礎知識(大津和子, 溝上泰編), 明治図書, pp.272-273, (2000)
- D0014 中澤秀雄：開発と市民運動, キーワード地域社会学, 地域社会学会, ハーベスト社, pp.270-271, (2000)
- D0015 新國三千代：データベースの基礎的研究—文書画像のフォントロバスタな文字検索手法の提案—, 1999 年度国内留研研究成果報告, p.14, 2000 年 5 月
- D0016 早田和弥：地名順列における自生的秩序とイコノグラフィー, 形の科学会誌, Vol.15, No.2, pp.102-103, (2000)